

アカシアの物語



March 8th
International Women's Day
La Festa della Donna
La fête du Mimosa

ふさふさとしたミモザの花。春の訪れを感じる、かわいい黄色の花です。
三月八日は国際女性の日、通称「ミモザの日」と呼ばれています。
女性の社会活躍を願う日として国連で制定されました。

実は私達がミモザと呼んでいるこの植物は、本当の名前は「アカシア」といいます。
ミモザというのは、元々おじぎ草のことでした。ヨーロッパにこの植物が入ってきた時
「ミモザに似たアカシア」と言われたのが、いつの間にか「ミモザ」と呼ばれるようになりました。
料理でもミモザサラダ、ミモザケーキなど、黄色のふわふわしたデコレーションは
すっかり「ミモザ」というイメージで定着しています。

アカシアと呼ばれる植物は、主にアフリカ原産とオーストラリア原産の植物があるのですが
私達がミモザと言うあの花は、ほとんどがオーストラリア原産のアカシアです。

一方、アフリカ原産のアカシアも歴史が古く、三千五百年前の古代エジプト時代にはすでに
薬としても使われていました。また旧約聖書の「出エジプト記」にあるモーゼの十戒、
その石板を収めたアークという「契約の箱」は、このアフリカ原産のアカシアで作られています。

そんな各地の物語があるアカシアですが、南フランスには地中海沿いに一三〇キロに渡る
ミモザ街道という道があり、この時期にはミモザのお祭りやパレードが行われます。

またイタリアでは街中にミモザがあふれ、三月八日には男性から女性にこの花が贈られます。

こぼれるように咲く黄色の花は、まるで光の花束のよう。

こんなブーケを男性からもらったなら、心が弾はんでしまいますね。
もう春は、すぐそこまで来ています。

(旧約聖書「出エジプト記」第三〇章)

花物語

比田井宗玉

